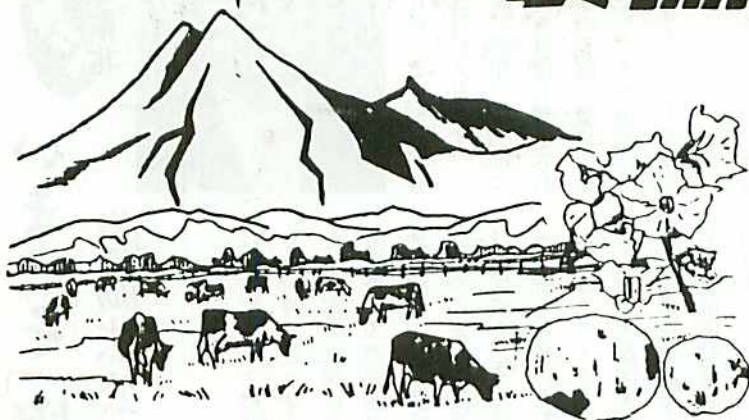


なか|べつ 農協だより



第 96 号

昭和 57 年 12 月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 アート印刷株式会社





いまこそ「協同の力」を

農協法公布記念日に当たって

北農中央会会長 床鍋 繁則



十一月十九日・第三十五回農協法公布記念日であります。

この法律は、昭和二十二年に農村の民主化を目標に制定され今日まで農業の発展、農協の地位向上に果たしてきた役割はきわめて大きなものであります。

農協法公布当時は、国民食糧の確保が重要な課題であり、農協を軸とした農業の振興が重視された時代でありました。そういう時代環境のもとで農協が農業の近代化を通じ、食糧の確保と同時に組合員の社会的、経済的發展に果たした役割はきわめて大きかったことは言うまでもありません。

この間、農業を取り巻く状況

はつねに厳しさの連続でありま

した。幾たびとなく繰り返され

た冷災害の試練に加え、高度経

済成長下での労働力の流出、農

地の浸蝕、更に農畜産物価格の

低迷から米の生産調整・牛乳の

計画生産などその経緯は常に激

波に洗われ続けたと言っても過

言ではありません。しかし、こ

れら幾多の難関を打開しつつ、

今日の近代化農業を築きあげた

力は農協運動理念を基調とした

相互扶助の精神と、強い団結に

よって培われた「協同の力」であ

ったと確信するものでありま

す。

今日、更に新たな課題として

農畜産物の輸入自由化・枠拡大

が惹起され、国内食糧自給力が

貧しい中で食糧過剰という矛

盾に一層の拍車をかけようとい

う外圧が強まっています。

その背景を垣間見るとき、い

まや農業はわが国だけでなく、

アメリカやECにおいても大き

な悩みをかかえる現状にありま

す。しかし半面、長期の展望に

立ってみると、二〇〇〇年の

地球人口は六十億人にふくれあ

がり、世界的食糧不足は必至と

いわれています。われわれは、

目先にとらわれることなく本道

を食糧基地として築きあげ、わ

が国の食糧安定確保に貢献する

使命があります。

そういう観点から本年は、全

道の農協正組合員を対象に「組

合員意向調査」を実施、その集

約結果をふまえて六十五年を目

標とした「北海道農業基本構想」

策定の緒についているところで

あります。

農協法公布記念日を迎えるに

当り、われわれは改めて協同の

理念をお互いに確かめあい農協

の発展に共につとめましょう。

乳質改善優良事例⑥

乳質管理全般に 細心の注意

南共栄 長正路 清牧場



今回は当幌地区の長正路清きんを紹介いたします。

昨年は成牛三千頭で百九十ト

ンの牛乳を出荷、一頭平均六、

三〇〇kg、乳脂率三・六二%、

無脂固形分率八・三九%、レサ

ズリン検査は殆どゼロと立派な

実績をあげています。乳質改善

についてお話を伺うと、牛舎内

外の飼養管理の整備と乳房炎等

疾病の発見の検査方法、そして

あとの処理をきちんとする事に

よりある程度乳質は保てる。も

ちろん搾乳機等の洗浄・殺菌は

充分に行い、ライサーゴムも六

カ月毎に交換しています。

既設パイプラインミルクカーの径が細くミルククロの容量が小さい。又、ミルクカーのかけすぎによる乳房炎の発生を防ぐため自動脱着装置を装備したパイプラインミルクカーを今年新たに

設備され、それ以降乳房炎牛の発生はないとの事。又地域ぐるみで乳質改善に取り組む事により更に全体のレベルアップを図る事が必要ではないかとも言われます。

普段から意欲的に乳質改善に取り組まれておられる長正路さんでした。

長年の功績が 受賞となる



受賞された岡部夫妻

十一月十九日（農協法制定記念日）、中標津町菊の苑に於て、第六回根室管内農業賞表彰式が行われ、豊岡地区の岡部幸次郎氏が夫人と共に授賞されました。

今回の授賞者は、根室管内で農業者五名と農協職員一名の六名が表彰され、地域農業振興に功績された方々ばかりでした。当農協の岡部幸次郎氏においては、昭和二年、十九才の時富山県から父母と共に中標津町共立地区に入植し、その後現在の豊岡地区に移り開墾に汗を流さ

れた。三十三才の時に父を亡くし、一家の柱として酪農振興に情熱を燃やし、今日の酪農経営の基礎を築きあげた。その間地域の酪農振興会

表彰風景



謝辞を述べる岡部さん

域酪農と農協の発展に指導的役割を果たされ、その功績が認められて今回の授賞となりました。

今後更に健康で活躍されますよう御期待申し上げます。

新婚さん♡

西共栄地区 半沢和美君
和子さん



十月十一日、中標津町・ホテル秀月において、小浜澄美様御夫妻の御媒妁により、半沢和美君とさよ子さんの結婚祝賀会が盛会に行われました。

二人は、今年の六月始めに小浜さんの紹介で出会いが始まりました。

さよ子さんは隣町、別海町出身ですが、酪農経験が無く結婚前は中標津町内の東武でレジの仕事をしており、計算には強い事でしょう。しかし、お嫁に来る前は牛飼いに自信が無く、

一週間程和美君の家で実習をし自信をつけたそうです。そのかいあって今は、仔牛の哺育・搾乳が出来るようになったそうです。

一方、和美君は、結婚して好きな山登りも出来なくなるなど言いながら、家族の健康を第一に考えながら経営改善に意欲を見せていました。

最後に二人は、堅実な経営を目指し、余欲のある生活を送っていきたくと抱負を語っていました。

生乳計画生産の諸対策と 受託計画数量の変更決まる

当農協の配分数量は1,541トン増加となる

乳製品の需給ひつ迫による全乳哺育事業の中止に伴い、その後の対策として、国の「加工原料乳計画生産推進対策事業」の中で行われる乳成分向上促進事業と、北海道指定生乳生産者団体が実施する、「生産奨励対策事業」が次の内容で実施されることになりましたのでお知らせします。

なお、全乳哺育事業の中止により当初計画の全乳哺育向数量の残量は、出荷調整乳として扱いを進めることになり、したが

加工原料乳計画生産

推進対策事業について

このことについて、全乳哺育事業が中止になったことに伴い

その後の対策として次のとおり国の決定にもとずき取り進めることになりました。

記

一、加工原料乳計画生産推進対策事業費の内訳

北海道配分額
十三億八千九百一十万円

つて昭和五十七年度の計画数量も次の「生乳受託計画数量の変更について」のとおり変更になりました。その結果中標津町農協の五十七年度の計画生産配分数量は、五万二千三百八トンになり、(前年比一〇・三・八パーセント)当初の販売配分数量より一千五百四十一トン増加になりましたので、下期についても上期同様に精一杯搾っても配分量をオーバーすることはないかと思っています。

内訳

全乳哺育促成進事業費

三億四千四百九十万円

乳成分向上促進事業費

十億四千四百三十万円

※別に全国枠として

生乳計画出荷調整事業費

五億円

二、乳成分向上促進事業を実施するに当たっての前提

実施要領の策定に当たり、

次の事項について国(畜産振興事業団)と協議いたしたい。

(1)「加工向生乳」とは、「加工原料乳認定数量」とする。

(2)「無脂乳固形分含有率〇・一%につき生乳一キログラム当たり」は、「生乳一キログラムに含有される無脂乳固形分量一グラム当たり」と読み替える。

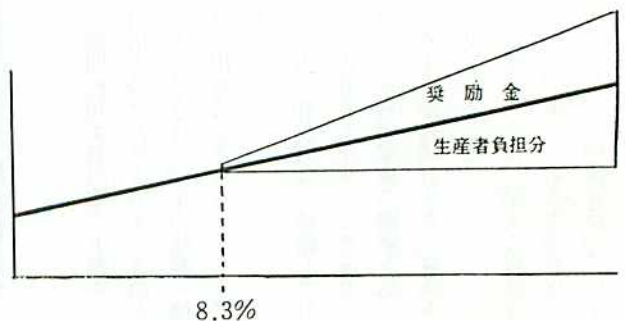
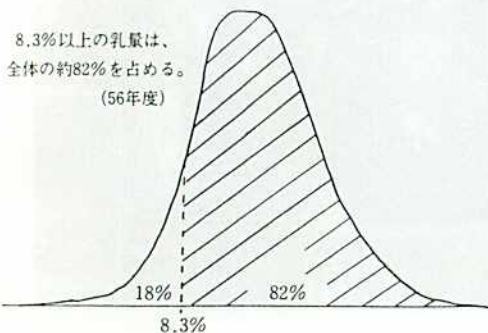
(3)交付対象期間は、四半期単位とし、かつ、単価も四半期単位で設定する。

(4)奨励金の生産者への精算に当たっては、八・三%以上の全受託無脂固形分量で割り返して、単価を設定する。

〈乳成分向上促進事業の骨子〉

事業の骨子

第二四半期以降の加工向生乳については、八・三%を超えるSNF量一グラム当たり約四十三銭(五十六年度実績)の場合で、全道ルールにより約二十五銭の奨励金を交付する。



生乳奨励対策

事業について

このことについては北海道指定生乳生産者団体ホクレン農業協同組合連合会は、次の「生産奨励対策事業実施事務要領」にもとづき実施することになりました。

第一、対策金の支出

対策金は次により支出するものとする。

一、対策金の支出対象者は、昭和五十七年度第二・第四半

期において、本会に直接又は

間接に生乳の販売委託をした

生産者（本会の指定生乳生産者団体としての指定に係る区域内において、生乳の生産を行う者に限る。以下「生産者」という。）とする。

二、生産者ごとの対策金の額は当該生産者の委託一等乳量に対し、キログラム当たり一円を乗じた金額とする。ただし、当該生産者に対しこの要領に定める以外の奨励金等が支出される場合、対策金の支出は右記により算出した金額から当該奨励金等の金額を差引いた金額を限度とする。

三、対策金の算定期間および支

出時期は、本会が別に定める。

四、対策金の支出は、当該生産者のごと対策金の額及び算出基礎を本会に販売委託している農協等（農業組合等の生乳出荷団体及びその連合会をいう。以下同じ）に通知の上、通常の乳代支払方法に準じて行うものとする。

第三、対策金の財源

対策金の財源は、本会が昭和五十七年度生乳取引条件交渉で得た酪農安定対策費（送乳体制整備協力費を除く）とする。

第四、支出事務の委任

一、本会は、対策金支出事務の一部を本会に直接又は間接に生乳の販売を委託している農協等に直接又は間接に委託して行うことができるものとし、その委任に当たっては次の条件を付するものとする。

(1) 委任を受けた農協等は、本会から生産者ごとの奨励金の額および算出基礎の通知を受けた場合には遅滞なくこれを生産者に通知するものとする

(2) 委任を受けた農協等は、本会から対策金を受領した場合に

は遅滞なくその金額を生産者に対し支出することとし、その支出に当たっては、当該生産者に対して当該農協等が有する債権と相殺しないこと。

(3) 委託を受けた農協等は、対策金に係る経理にあたっては他の経理と明確に区分して整理するとともに、その内容を明らかにした帳簿および関係証

昭和五十七年度生乳受託

計画数量の変更について

このことについて、国の方針変更にもとまう全乳哺育事業の

換書類を整理保管するものとし、その保存期間は昭和六十年三月三十一日までとする。

一、委託を受けた農協等は、本会の承認を受けた場合、さらに他の農協等に支出事務の再委任をすることができるとするものとする。

中止により出荷調整乳の扱いについて、次により取り進めることになりました。

一、出荷調整乳を次のとおり位置づける。

二、出荷調整乳の販売代金は、プールの精算することとし、具体的精算方法については別途協議する。

三、出荷調整乳（全乳哺育向を含む）は、既定方針にもとづき、販売向数量の持ち分比率により地区に配分する。

配分内訳は次のとおり。

当初計画

販売向	全乳哺育向
2,085,654t	63,296t
計 2,148,950t	

変更後計画

販売向	出荷調整乳	全乳哺育向
2,085,654t	48,925t	14,371t
計 2,148,950t		

昭和57年度生乳計画生産地区別配分

区 分 地 区	57年度販売 計画数量 ①	新規割当 数 量 ②	57年度新規割当 後販売計画数量 ③=①+②	持 分 比 率 (a)	出荷調整乳量 ④=63,296 ^ト ×(a)	アウトイン 修正乳量 ⑤	57 年 度 計 画 生産目標数量 ⑥=③+④+⑤	摘 要
函 館	77,546 ^{トン}	28 ^{トン}	77,574 ^{トン}	3.720 [%]	2,355 ^{トン}		79,929 ^{トン}	
倶知安	29,318		29,318	1.406	890		30,208	
苫小牧	78,331	160	78,491	3.764	2,382		80,873	
札幌	20,382	470	20,852	1.000	633		21,485	
岩見沢	25,393	140	25,533	1.225	775	500	26,808	
留 萌	80,374		80,374	3.855	2,440		82,814	
旭 川	103,925	301	104,226	4.999	3,164		107,390	
稚 内	164,842		164,842	7.906	5,004		169,846	
帯 広	489,177		489,177	23.459	14,849		504,026	
北 見	328,441		328,441	23.451	9,970		338,411	
釧 路	281,494	102	281,596	13.551	8,548		290,144	
中 標 津	404,720	△ 102	404,618	19.405	12,283		416,901	
新規割当	1,211	△ 1,099	112	0.005	3		115	
合 計	2,085,154	0	2,085,154	100.000	63,296	500	2,148,950	

昭和57年度生乳計画生産農協別配分

区 分 地 区	57年度販売 計画数量 ①	新規割当 数 量 ②	57年度新規割当 後販売計画数量 ③=①+②	持 分 比 率 (a)	出荷調整乳量 ④=1,283 ^ト ×(a)	アウトイン 修正乳量 ⑤	57 年 度 計 画 生産目標数量 ⑥=③+④+⑤	摘 要
標 津	40,591 ^{トン}	^{トン}	40,591 ^{トン}	10.03 [%]	1,232 ^{トン}	^{トン}	41,823 ^{トン}	
中標 津	50,767		50,767	12.55	1,541		52,308	
計根別	50,436		50,436	12.47	1,532		51,968	
西春別	52,639		52,639	13.01	1,598		54,237	
上春別	32,209		32,209	7.96	978		33,187	
別 海	89,506	△ 102	89,904	22.09	2,713		92,117	浜中酪農へ1戸転出
根釧PF 中春別	57,094		57,094	14.11	1,733		58,882	
根 室	29,583		29,583	7.31	898		30,481	
羅白町	1,895		1,895	0.47	58		1,953	
合 計	404,720	△ 102	404,618	100.00	12,283	0	416,901	

酪農最新技術②

受精卵移植

雪印中標津工場

芳賀

誠

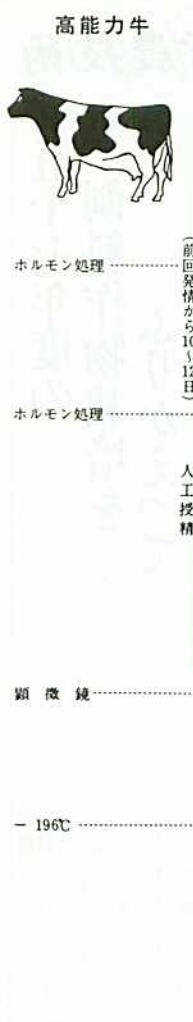
画期的な技術の進歩である受

精卵移植はこれからもどんどん進んでいき、実用化されていくでしょう。ところで、受精卵移植を実施するときにちよつと厄介なのは、受精卵を採取する優良牛とこれを移植する受精牛との発情を一致させなければなりません。(発情の同期化と言います) 同期化させるためにホルモンの投与を行い一定期間観察し、両方の発情が合致するのを確認しなければいけません。

◎受精卵の凍結

凍結受精卵移植

の仕組み



このような問題を解決する方法も研究され成果があがっています。採り出した受精卵を凍結させておくことです。現在、受精卵の凍結技術について世界中の研究者がいろいろな凍結方法や凍結装置の研究を続けており、我が国でも昨年从今年にかけて牛受精卵の凍結実験に朗報が誕生しています。農水省日高種畜牧場、兵庫県畜試、静岡県畜試、北大獣医学部、そして我々雪印中標津・別海チームの朗報です。

この受精卵の凍結の用途がいろいろとあります。次のようなことが可能になりました。

- ① 優良な供卵牛と受卵牛の発情の同期化の心配がいらない。
- ② 優良な受精卵を長期保存できる(受精卵バンク)
- ③ 遠隔地への受精卵の輸送が可能となります。

(以下次号)

凍結技術は大変複雑でむづかしい技術の集積ですが、我々雪印チームと北大では「ほくさん」が開発したマイクロ・コンピュータを搭載した受精卵凍結装置「クライオエンブリオ」を使つて数多くの成功例を収めております。我が雪印中標津工場管下でも、この装置により凍結した受精卵を移植して妊娠した三頭が元気に繁養されております。

57年度

平均収量 ha当り

49,14t

てん菜作付実績について

本年度のてん菜受入が終了致しました。今年は天候にも恵まれ、昭和五十四年に記録した収量を(四八・〇ト)更に更新し四九・一四トと最高の収量を記録しました。この収量は根釧地区のてん菜耕作のトップでした。又、個人の収量の方も根管内では不可能とされていた反収六ト以上を中標津町農協管内において三戸を超えたということは記録的なことだと思われま

す。

最終的には、次の通りとなりました。

一、五十七年度作付戸数

六十八戸

二、五十七年度作付面積

一九八・〇七ha

三、五十七年度最高収量

六一・二七ト

四、五十七年度ha当り平均収量 四九・一四ト

五、六十ト以上 三戸

六、五十ト以上 三十五戸

以上の通り今年には五十ト以上が三千五戸と記録的な数字が出て参りました。これは天候ばかりでなく一重に耕作者皆様方の御理解と栽培技術の向上及び努力の結果であると思います。尚、来年耕作予定をしてる方は早めに作付面積等の計画をし、農産課・ホクレン原料所の方まで御連絡下さるようお願いいたします。

管内農協別生産状況

面積	総収量	平均収量
標津 46.48ha	2,064,96t	4,443kg
中標津 198.07(農試含む)	9,734,03	4,914
計根別 214.48	9,707,04	4,526
西春別 161.67	6,126,17	3,789
上春別 28.08	1,335,70	4,757

技術 農業 営

五十七年度の 飼料作物栽培を ふりかえって

北根室地区農業改良普及所

いよいよ本格的な舎飼期に入りました。本年度の飼料作物収量調査結果を見ながら、今年をふりかえってみましょう。

一、牧 草

全体的には昨年より高収量でしたが、ここの二・三年雑草の混入が目立ち、とくにアメリカカオニアザミやギシギシ・フキ・シバムギが多いようです。アメリカカオニアザミはカナダアザミと異なり、二年生なのでツボミのうち刈取れば十分駆除できま

す。また、ギシギシはアーシラを正しく使用することにより駆除効果を高めれます。来年度は計画的な雑草対策を行うべきです。

二、青刈りとうもろこし

今年には収量も登熟度も昨年を上回りました。しかし積算温度が高かった割には日照時間が少なく、丈は高いが茎は細く、見

かけの割には低収でした。しかしこうした中においても、ほ場

毎で次の三ポイントに起因する収量差が出ています。それは①

早時播種 ②欠株防止 ③雑草

対策です。特に欠株についてみると、ある酪農家の欠株率が五割と二十二割のほ場の十a当り収量差は生収量で一、八一八g、乾物で四二二g、TDNで二八六gも差がありました。

三、家畜根菜

(一)ルタバガのマゼスチック一号は耐病性が強く、早期播種で高収量が期待できます。五月の下旬から六月の中旬には播種すべきです。(グラフ参照)

(二)ムラサキカブはルタバガより生育日数が短く利用価値がありますが、今年は二ヘクタールのカブ畑をストリップ放牧で利用し、乳量低下防止に効果を上げた人もいました。

1. 牧 草 普及所調査(10a)

年 度	1 番	2 番	計
	kg	kg	kg
56 年	1,987	1,352	3,341
57 年	2,058	1,618	3,676

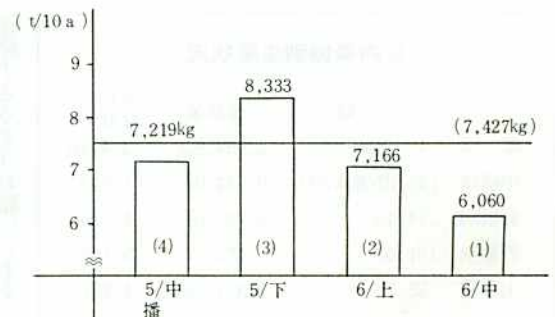
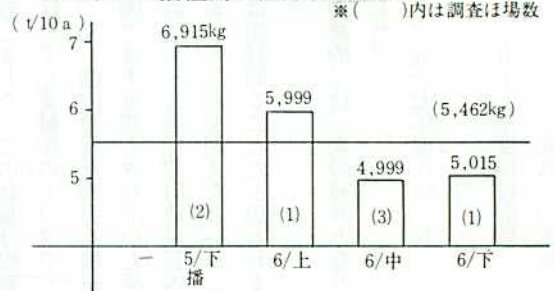
2. 青刈りとうもろこし 普及所調査(10a)

調 査 年月日	稈 長	着穂高	生総重	乾総重	乾物率	熟 度	欠株率	TDN	TDN/kg 乾物	調 査 ほ場数
	cm	cm	kg	kg	%		%	kg	%	
56 年 10/7~8	170	67	3,830	860	22.5	樹後~黄	11.4	585	68.0	17
57 年 10/4	211	83	4,456	1,088	24.4	黄	9.6	733	67.4	10

3. ルタバカ 普及所調査(10a)

調 査 年月日	総 重	根 重	茎葉重	株 数	根重/総重	病株率	調 査 ほ場数
	kg	kg	kg	本	%	%	
56 年 10/27	7,755	5,462	2,293	4,214	70.4	—	9
57 年 10/22~29	11,203	7,427	3,776	3,569	67.2	9	10

4. ルタバガ播種期と根部収量の関係



年末年始の休業のお知らせ

新しい年を迎えるにあたり正月休みは次の通りとなっておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

事務所 十二月三十一日から一月六日まで全休

ストア 十二月三十一日午後一時から一月六日まで全休

スタンド 十二月三十一日

生活講座⑫

家計簿から暮らしの

反省と計画を

北根室地区農業改良普及所

十二月は、一年のしめくりをする月です。みなさんの今年の生活は計画どおりでできたでしょうか。厳しい酪農状況の中で所得の伸び悩み・物価の上昇等

です。このためには、一年間努力して記帳された家計簿の数字を暮しの中に有効に生かしましょう。

家計簿決算

生活を守る上にも厳しい影響があったかと思われます。しかし安定した生活を営む基本は、家族が健康で楽しい暮しが送れ、将来の見通しがたっていること

毎日記入したものを「週ごと、一月ごと、一年ごと」などにしめくくるのが決算です。決算すると、ただ記帳しただけではつかめない収支のバランスや生活の

内容・財産の状態などがはつきりします。家の家計簿では「今年一年の決算表」に毎月の数字を費目ごとに転記するようになっています。支出だけでなく収入や財産についても、分類して、計算すると生活を考える上に役立ちます。年決算が終わったら家計費の分析をします。

内容・財産の状態などがはつきりします。家の家計簿では「今年一年の決算表」に毎月の数字を費目ごとに転記するようになっています。支出だけでなく収入や財産についても、分類して、計算すると生活を考える上に役立ちます。年決算が終わったら家計費の分析をします。

家計費の分析・診断

費目別の割合を計算する

まず一人当たりの家計費を計算してみます。これは、年決算の費目別金額を家族数で割って算出します。年内に家族数に変化があった場合は、月々の家族数を合計した数で、各費目の総額を割り、それに12を掛けると

それぞれに費目の金額を、經常支出計の金額で割った数字に百を掛けて計算します。この数字は、家計費全体を百として、各費目をパーセンテージで示したものです。

収支のバランスをみる

定期的に入る經常の実収入で生活ができていくかどうか。実収入で生活費を賄いきれなかった時は、その原因を確かめて検討します。

支出のバランス

食物費・被服費・住居費など現在の暮らしの内容のバランスです。家族構成・習慣や好み・住宅事情や生活の考え方など、多くの条件によって変わるので、誰

午後5時から一月六日まで全休。但し一月四日は午前九時から午後三時まで営業します。
資材店舗「十二月三十一日から一月六日まで全休
人工授精業務「十二月三十一日は受付十時まで
一月一日から三日まで全休。一月四日から六日まで
の受付は午前十時までです。

にも共通の良い比率はありません。それよりも食物費なら、栄養的に適当な食事内容か、それを食べて家族は健康か、家族がその食事を喜んでいないか、健康上有害な物は食べていないか、買い過ぎや作り過ぎにもごみは多くないか、などの点から食費を検討して、良い範囲の金額ならば、その支出を適当と考えたいでしょう。

他の費目についても、暮しぶりと金額とを合わせて診断します。こうした色々な角度から検討した数字を今後の生活設計に役だてたいものです。

馬鈴薯処理量

57万7千俵

となる!!

合理化澱粉工場の操業終わる

今年の馬鈴薯の収穫は大変天候に恵まれ順調に推移致しました。尚又原料の処理量も馬鈴薯耕作者の理解と協力により当初の予想を上廻る結果を得て無事終了することが出来ました。

九月十六日よりフル操業に入りました澱粉工場は順調に操業を続けて参りましたが、その間殆んどトラブルもなく十一月二十六日を以って集荷原料を全部

処理致しました。処理量は五十二万七千俵となりましたが特徴としては澱粉価十五・八%と平年より〇・六%も低く今迄の最低となりました。

何れにしても過去最高の原料を処理出来たことは馬鈴薯耕作者各位のご協力の賜と厚くお礼申し上げ報告と致します。

税の知識

根室税務署

◎生命保険と税金

多くの家庭では、病気や交通事故など突然の災難に備えて、生命保険に加入しています。

そこで、生命保険と税金の関係についてのあらましを説明しましょう。

〔生命保険料を支払った場合〕

所得税を計算する場合、生命保険料の支払額に応じて、一定額(最高五万円)が「生命保険料控除」として、その年の所得金額から控除されます。

この「控除」の対象となるのは納税者本人や家族を受取人とする生命保険や簡易生命保険の保

険料、郵便年金や生命

共済の掛金などです。

〔満期保険金や死亡保険金を受け取った場合〕

含

受け取った保険金は

その保険料をだれが負担していたかによって相続税か贈与税あるいは所得税の課税の対象になります。

〔身体の傷害や疾病を

原因とする障害給付金

や入院給付金などを受

け取った場合〕

受け取った給付金に

は、税金はかかりませ

ん。

別表 生命保険金の課税関係

	保 険 料 の 負 担 者	保険金受取人に課税される税金の種類
死満期死亡保険金	保険金受取人のとき	所 得 税 (一時所得)
	保険金受取人以外	贈 与 税
	被保険者(死亡した人)のとき	相 続 税
	保険金受取人のとき	所 得 税 (一時所得)
	保険金受取人でも被保険者でもないとき	贈 与 税

各配合飼料は十月一日より値下げとなり

ましたが、くみあい配合飼料では、畜産生産者の負担を軽減するため、九月出荷分につきましてもトン当り一、〇五〇円を、十一月四日付でワミカン飼料代支出訂正の経理で振込み、対策を実施致しました。

短歌

農村生活をとおして
日々の仕事・生活を歌った

安 江 朝 子

東京は阿佐谷駅にほど近き西友ストアに通ひし日々よ

全日空のスチュワーデスはやさしかり固き心もいつしかほべるる

心地良くと眠りてをりぬ孫香代子丈夫に育てと北海道に発つ

羽田空港東亜国内機に乗込みて今なつかしの釧路に向ふる

乳牛好きの亡父に似たるか吾もまた広き牧場に今日も牛追ふ

涼風を求めて乳牛はから松の林に急ぐ群をなしつつ

温床のプリンスメロンも色づきて昨日も今日も地の上に落つ

茶の間にてコオロギ一夜なきくれ心さやかに眠りに入りぬ

ルタバカも貯蔵を終へて一息をつけば夕映地平を染めて

五人目の孫いだく日の近づけば心はずめる東京への旅

西 武 佐 石 橋 喜 美 夫

温泉にうからと連れだち行かむ朝一時間早めて搾乳始む

日の出まで半時もあるにひんがしの空は茜に染み渡りをり

日の照りを返す海面ふた分けにしつつ漁船は沖へ向きゆく

搾乳を始むる時迫り道沿ひのポー川史跡に寄らずに戻る

温泉にて濡らせるタオルを干してある居間に硫黄の匂ひ微かす

捕り欲しと哀願せるらし蛇あまたつきある牛の首を寄せ来る

蛇に刺され腫れたる耳を後足の蹄の先にて掻きをり牛は

窓ガラスに幾度も体打ちつつも雀は追ひ掛く蛇を捕へむと

蛇運び入りたる雀は仔の糞をくはへ出で来ぬ軒の巢より

蛇打ちて汚れたる手を妻と吾小川の清き流れに洗ふ

理事会 の 経過

第七回理事会

十月二十九日開催

議案

- 一、昭和五十七年度九月末収支予算統制計画について
原案どおり決定しました。
- 二、昭和五十六年度産共計澱粉の精算について
共計精算支払額

薬草の効用 ゲンノショウコウ

薬用部＝夏、花の最盛期

下痢どめ・煎液を冷して布に浸し、かぶれ・湿疹・股ずれ・靴ずれに冷湿布する。

【薬効】採取時期は、花の咲いている頃が適期で、花をつけたまま根ぎわより刈りとり、水洗いしてからよく水を切り、そのあとで日干しにします。

主成分はタンニン(渋のこと)で、細胞をひきしめる収斂作用があるので、下痢どめ・止血・はれをひかせるなどの効果があり、ほかにも尿の出をよくするクエルセチンなども含まれてい

るので、便秘を起こすことが少ないわけです。下痢どめには、一日量二十グラムをコップ三杯の水で半量になるまでとろ火で煮つめ、かすを除いて、食後三回に分けて飲みます。同じ煎液の冷えたものに布きれを浸し、ウルシ・ギンナン・草などのかぶれ・湿疹・股ずれ・靴ずれなどの患部を冷湿布します。

一袋当り一〇〇円
工場取得割戻し額
(共計参加品)一袋当り
七〇円

(一般売り)一袋当り五〇円
以上原案どおり決定しました。

三、昭和五十七年度制度資金の追加申込みについて
農協農機具ローン他 五件
融費額 一五、七九〇千円
以上原案どおり決定しました。

四、昭和五十七年度酪農経営負債整理対策について
原案どおり決定しました。

五、昭和五十七年度土地改良事業の実施について
中標津町の条例を以って行う事業
原案どおり決定しました。

六、昭和五十七年度新地域農業生産振興対策事業の実施計画の変更について
原案どおり決定しました。

協議事項

一、秋山勝一離農跡地の処分について
二、生乳抗菌性物質残留確認検査料の有料について

協議結果
検査料は、本年度に限り農協負担とすることになりました。

三、乳質ベナルティーの用途について
四、生乳の抗菌性物質混入賠償について
五、昭和五十八年度の乳量伸率の報告について

六、農畜産物輸入自由化枠拡大阻止に関する署名について
七、地域農業振興計画の策定について

八、団体営草地開発整備事業の直営施行について
協議結果
道の係官による説明会を開催することになりました。

九、農協定年延長の検討について
協議結果
骨子案を管理購買委員会・役員協議会を開催の上、更に検討することになりました。

十、第六回根室管内農業賞候補の推薦について
十一、昭和五十七年度自作農維持資金(経営再建)の需要額調査の報告について

十二、加工原料乳計画生産推進対策事業について
十三、生乳生産奨励対策事業について
十四、生乳受託計画数量の変更について

十五、飲用牛消費拡大三ヶ年乳運動の報告について
十六、酪対役員会の開催について

三、一日皆貯金の実績について
四、店舗開店十二周年記念大売出しの実施結果について

五、自治監査の実施について
六、昭和五十八年度欠員職員の補充について
七、配合飼料の価格変更について

八、昭和五十七年度、いも・澱粉等の政府基準価格の決定について
九、農業公社牧場事業の前回理事会後における山口他の処置について

十、第六回根室管内農業賞候補の推薦について
十一、昭和五十七年度自作農維持資金(経営再建)の需要額調査の報告について

十二、加工原料乳計画生産推進対策事業について
十三、生乳生産奨励対策事業について
十四、生乳受託計画数量の変更について

十五、飲用牛消費拡大三ヶ年乳運動の報告について
十六、酪対役員会の開催について

報告事項
一、昭和五十七年度九月末財務状況について
二、澱粉工場の操業状況について

昭和57年度

除雪計画について

雪のシーズンになり、気忙しいことと思います。

除雪路線は下図の通りで昨年より十三・七km延長となりました。(太線の部分) 除雪体制は町有車・民間借上車含め三十一台となり、市街地・幹線道路・その他の順位で施行致します。

各関係機関とも気象条件にもよりますが、降雪時は六時。通常は九時三十分から始動します。私道の除雪は極力自力で願います。無理な場合は早めに農協へ電話をして下さい。町へ電話をしても受付けてくれません。

私道の場合は次の点に協力下さい。

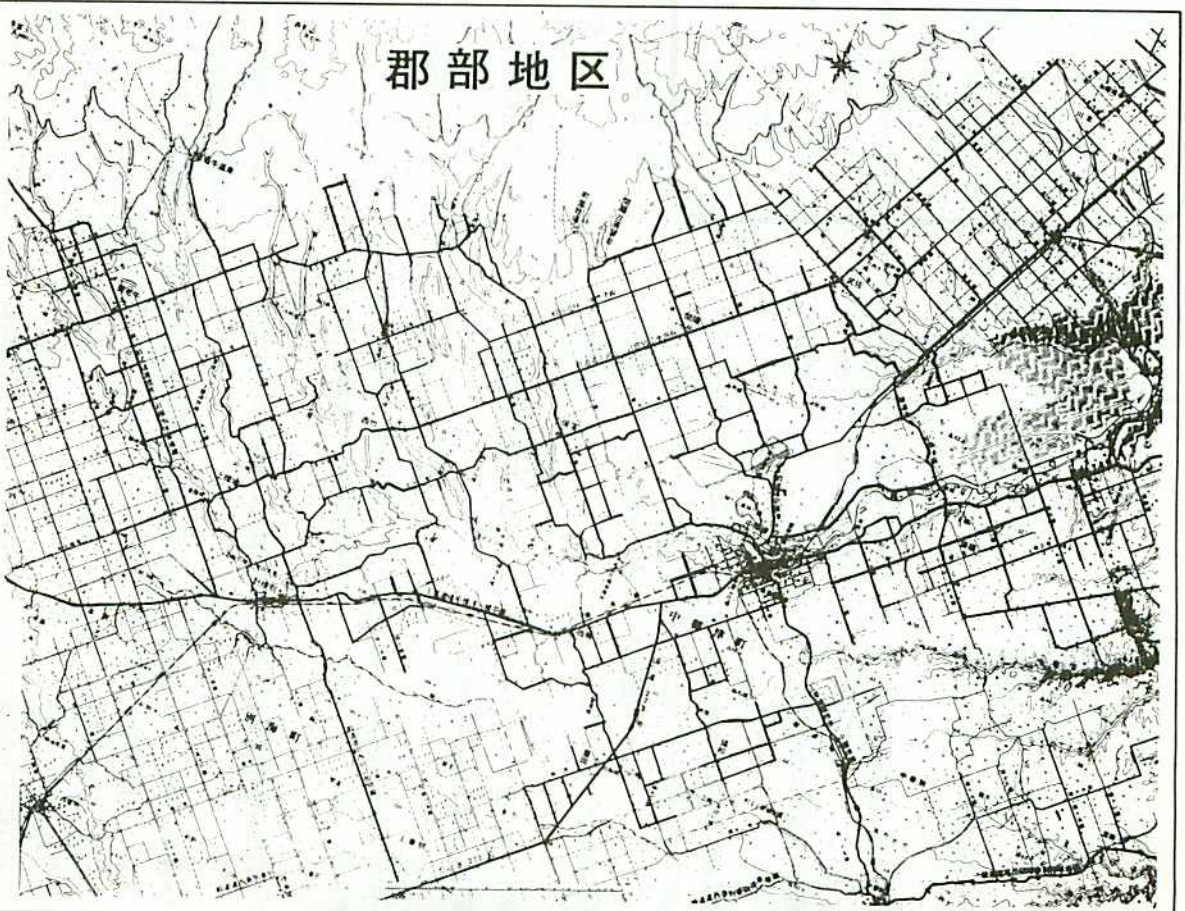
一、取付道路に標識の設置

二、除雪路線の障害物の除去

経費の負担は町・農協・受益者の三分の一で、バルククーラ設置農家だけです。作業時間は十五分単位で精算されます。

緊急事態発生の場合(人身のみ)は警察署又は消防署を通し、町に要請すること。

郡部地区



一日皆貯金 各賞の 当選者 決まる！

金融共済課

先に実施しました一日皆貯金にご協力いただきありがとうございます。ございました。

参加された全員を対象に理事会において抽選を行い、金賞・銀賞・銅賞が決まりましたので報告いたします。

また、当選された方々の賞品は貯金窓口でお渡ししていますのでお受け取り下さい。

五十七年度一日皆貯金当選者

【金賞】 十本

大沼善弘・片岡義仁・北川千栄子・児島富恵・佐藤房子・佐藤幸義・筒井辰也・保科竹子・三島木キク・吉成ハナ子

【銀賞】 五十本

阿部八重子・新井勲・井口定則・井口ミツ・池田明・石崎光子・今井秀和・上村重光・榎田健智・

小原治・加藤伸・金浜順一・久保とみ子・栗田トキエ・剣持富作子・小林佐枝子・桜井誠造・佐藤千秋・佐藤ツギ子・佐藤智昭・佐藤ゆう子・沢田哲郎・鋪豊子・島田牧子・清水イマ・下川原政市・下山幸一・白葉望・管原弘・鈴木嵩・清野光彦・関又左エ門・高藤以智子・高橋常治・高橋美子・滝本勇雄・田代節子・谷口京寿・筒井良秋・永島一男・中司哲雄・成田武・野口忍・半沢かね・藤井直雄美・本多修・松本清子・柳生正・山田英子・吉居尚勝

【銅賞】 百二十本

青木利一・赤波江ヨシエ・安達武蔵・安達勉・阿部とし子・新井ミヨ子・五十嵐サト・中村広子・石澤政子・石橋陽子・石原つぎ・板倉健悟・板橋君代・板橋三四・伊藤智之・今井靖清・乾 信・岩井誠子・上原テル子・上村節子・後木意子・白井久良子・榎田純子・榎田美津・遠藤二郎・大木すみ代・大友由子・大西晃秀・大西フミ子・奥村武雄・柿本進・笠原嬉代美・片山博美・加藤アサ子・加藤順子・川村健治・川村則子・日下よし

み・栗栖トシ・工藤洋子・久保美枝子・坂井セイ子・桜井精治・佐々木政行・佐藤妙子・佐藤利雄・佐藤永雄・佐藤信子・佐藤政之・佐藤美登里・沢口とし子・杉本桂子・鈴木キク・鈴木ちさと・鈴木フクエ・鈴木よしつぐ・高橋真里子・竹村聡・田島義一・彈正原正春・燕茂樹・出上千恵・寺西キク子・寺島末美・寺島享・土井上ふさ子・東原正広・東原三四子・殿守みゆき・中川喜美子・長崎良男・永谷節子・永谷ハル・中塚君子・中塚秀夫・長町恵子・長町忠行・中村敏夫・中山進一・名越成夫・西村聖一・西村稔雄・西村八重子・野沢武夫・長谷川ハルエ・花川キヨ子・浜谷二美代・林喜美子・半沢利平・福地傑・福村きみ子・房川喜清・藤田登美子・船越正雄・古沢信義・古瀬イセ・古瀬豊・前原順一・前原美代子・正城芳子・松本富子・三浦準治・三輪真智子・室井祐二・本村アサ・森重初男・森島倉雄・八木原和代・矢野登・山内清・山川健三・山崎千鶴子・山崎英夫・山下静江・山田武光・山田光子・横田純子・渡辺利秋・渡辺順造

新生活動が中心討議となる

第22回根室地区農協婦人部大会



十一月九日、十日の二日間、

川湯温泉ホテル北一館で第二十二回根室地区農協婦人部大会が約百五十名の参加により開催されました。当農協婦人部からは二十五名の部員が参加し、部員ひとりひとりの力を結集し実りある婦人部活動を「テーマに熱心な討議が行われました。一日目の記念講演で当麻町農協の山本経営課長が農協婦人部における生活活動についてと題して、新生活運動の実践・農業情勢学習会の実施・貸衣裳事業での婦人部事業経費の捻出、更には、家計簿記帳・健康管理などの中

広い実践内容を知る事が出来ました。その後、記念講演の内容を軸として分散会討議となり、どの分散会でも新生活運動に対する意見が多く出ました。中でも、婚礼・葬儀などでの会費の問題が多く出て、地域によって額が異なり、新生活運動を行うにはやりづらい、案内人数を減らしたらどうか等、家庭・地域ぐるみで進める事が必要ではないかと言った意見が続出したが総論では理解しても各論となると難しい点があるので、婦人だけではなく、主人・家族・地域皆さんで取り組む事が必要である事を確認して、健康管理問題へ進んだ。健康問題では、ミニドック検診が身近かで受けれるので年に一度は受けるよう心がけること、自給野菜を十分とって食生活からの改善を計っていくなど、身近な問題が熱心に討議され、二日間の日程を終えました。

小・中学生の応募をお待ちしております。

応募者は記念品をとりに来て下さい。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・年令・住所を書いて下さい。
- ③対象者：小・中学生
- ④宛先：中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広報係

⑤締切日：十二月二十日まで

*正解者十名の方に記念品を贈呈。参加者全員に参加賞を用意していますので多数応募下さい。

*発表は、五十八年二月号紙面で発表致します。

〔十月号の当選者〕

十月号の正解は「四つ」（下の図の○印でした）。

応募者十三名で、全員正解でした。正解者が十名を越えまし

たが、全員に記念品を差し上げますので、広報係まで申し出て下さい。

正解者は次の通りでした。

依橋 乾	達也くん	十才
" 乾	智ちゃん	八才
" 乾	かおりちゃん	七才
開陽	後藤田由香ちゃん	十四才
" 後藤	田由香ちゃん	十四才
依橋 乾	亜矢ちゃん	八才
" 乾	純くん	九才
南武佐	井口明子ちゃん	
南依橋	福島信博くん	十三才
" 福島	義博くん	十二才
高嶺	小林健一くん	十才
依橋	森島美由紀ちゃん	九才

《10月号の間違い箇所》



表紙写真

表紙の写真は、西武佐地区の菅岡久子さん三十一才です。

結婚して九年、二人の子供に恵まれ、二人共小生。生活にも余裕があり、暇を見ては家族で一日旅行へ出かける事もあるそうです。

冬期間には、地区の若妻会の集いに欠かさず参加しているとのこと。

積極的で明るいお嫁さんです。



11月の組合日誌

一日	中標津町農協酪乳役員会	十八日	第六回営農委員会
四日	馬鈴薯作況調査	十九日	農協法制定記念日
五日	整備工場検討委員会	二十五日	根室農業賞受賞式
六日	生産連事業推進委員会	二十七日	第十七回北海道農協大会
九日	道乳検協会理事会	二十六日	澱粉工場操業終了
十日・十七日	自治監査	三十日	第八回理事会
十六日・十八日	乳牛体格審査		

